

行事予定

2018(平成30)年12月～2019(平成31)年3月

【特別展／企画展】

11月2日(金)～12月13日(木)
2018年度國學院大學博物館×西南学院大学博物館共同特別展
「キリシタン—日本とキリスト教の469年—」
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

12月1日(土)～1月11日(金)
2018年度博物館実習成果展
「サンタクロース—本当の名前は聖ニコラウス?—」
[場所] 西南学院大学博物館1階常設展示室

1月15日(火)～3月23日(土)
2018年度西南学院大学博物館企画展Ⅱ
「宗教改革と印刷革命」
[場所] 西南学院大学博物館1階特別展示室、2階講堂

【特別展／企画展関連イベント】

12月1日(土)14:00～14:30
2018年度博物館実習成果展
関連イベント／クリスマスコンサート
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
※申し込み不要、参加無料

12月8日(土)14:00～16:00
2018年度國學院大學博物館×西南学院大学博物館共同特別展
関連ミュージアムセッション
「島原・天草一揆と禁教」
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
※申し込み不要、参加無料

2月2日(土)13:00～16:10
2018年度西南学院大学博物館企画展Ⅰ
関連公開シンポジウム
「東方キリスト教との出会い」
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
※申し込み不要、参加無料

3月13日(水)17:00～18:10(当日は20:00まで開館)
2018年度西南学院大学博物館企画展Ⅱ
関連イベント／レクチャー・コンサート
「ルターのコラール&バッハのコラール前奏曲」
[場所] 西南学院大学博物館2階講堂
※申し込み不要、参加無料

【ワークショップ】

12月1日(土)～12月24日(月)
「クリスマスツリーを飾ろう!」
[場所] 西南学院大学博物館1階

2月16日(土)
「カリグラフィでつくるグリーティングカード」
[場所] 西南学院大学コミュニティセンター

【キリスト降誕祭／年末年始休館】

2018年12月25日(火)、12月28日(金)～2019年1月5日(土)
行事予定は日程、内容等が変更する場合がございます。
各イベントの詳細につきましては博物館ホームページをご確認ください。

西南学院大学博物館 SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

〒814-8511 福岡市早良区西新3丁目13番1号
TEL.092-823-4785 FAX.092-823-4786 / 博物館事務室
URL <http://www.seinan-gu.ac.jp/museum/>

●開館時間のご案内

開館時間／10:00～18:00(入館は17:30まで)
休館日／毎週日曜日、夏季休暇[8/10～8/16]、キリスト降誕祭[12/25]、
年末・年始[12/28～1/5]、その他臨時休館あり
入館料／無料

[f](https://www.facebook.com/seinamuseum) seinamuseum [t](https://twitter.com/seinan_museum) @seinan_museum [i](https://www.instagram.com/seinan_museum) @seinan_museum

来館者掲示板

【来館者の言葉】

國學院大學の学生です。西南学院大学と連携していると知り、帰省のついでに訪問しました。様々なものを吸収できたので今後の学修に活かしていきたいです。今後の連携も楽しみにしています。(2018年8月)

私の学んだ東神大では教会史で「東方教会」についてはほとんど学びませんでした。東方教会について学ぶことが出来て感謝です。東方教会の信仰と神学を学びたいと思います。(2018年8月)

東方キリスト教との出会い展を観に来ました。ちょうどガイドをしていただけて貴重なお話を聞けました。よくロシアに行って、イコンなどを観る機会があったのですが、断片的な知識だったので世界の東方教会の流れや日本にもしっかりと定着していることなど興味深いお話を聞いて、今後はますますその意味や奥深さなどを考えながら美術を楽しみたいと思います。(2018年9月)



当館では、7月から10月にかけて企画展「東方キリスト教との出会い」を開催いたしました。暑さの厳しい時期の開催でしたが、九州内外を問わずたくさんの方々にご来館頂き、盛会のうちに終了いたしました。さて、台風の影響により延期させて頂きました10月6日(土)の企画展関連公開シンポジウムですが、2019年2月2日(土)に改めて開催することとなりました。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

学芸調査員 西山 萌

編集後記

初めまして。2018年10月より学芸員に就任した下園知弥と申します。キリスト教の思想・美術を専門としており、とりわけ西洋中世の写本や神学思想に関心があります。どうぞよろしくお願いいたします。

学芸員 下園 知弥

アクセスマップ ACCESS MAP



- 福岡空港 → 西新駅下車...約17分
- 博多駅 → 西新駅下車...約12分
- 天神 → 西新駅下車...約8分
※地下鉄西新駅(③番出口)から徒歩5分
- 博多駅バスセンター → 修猷館前...約35分
- 天神 → 修猷館前...約20分
※修猷館前バス停から徒歩5分
- 福岡空港(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約25分
- 博多駅(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約20分
- 天神(福岡都市高速・百道ランプ) → 大学...約15分

SEINAN GAKUIN UNIVERSITY MUSEUM

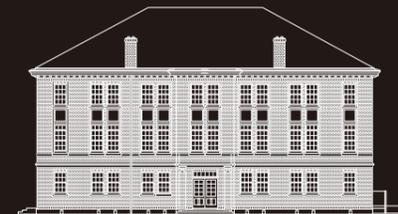
News

西南学院大学博物館ニュース

Volume 36 2018.12

◎西南学院大学

所蔵品紹介	【日本キリスト教史】「上野公園第三回内国勸業博覧会一覽之図」
聖書植物園紹介	ローズマリー/香り草
企画展紹介	宗教改革と印刷革命
博物館通信	せいなんワークショップ「和綴じでつくる! my ノート」ほか



所蔵品紹介 特集

【日本キリスト教史】

上野公園第三回内国勸業博覧会一覽之図

Ukiyo-e of the location of the Third National Industrial Exhibition

画・永島春暁／明治23(1890)年／紙製、木版色摺

日本の博物館史において、博覧会の存在は切り離せないものです。内国勸業博覧会は、明治10(1877)年から明治36(1903)年の間に5回開催されました。従来の見世物的な博覧会とは違い、産業奨励会としての面が強いことが特徴です。

本資料は、明治23(1890)年の4月1日～7月31日にかけて東京・上野公園で開催された第三回内国勸業博覧会の会場を描いたものです。開催されて間もない頃の様子なのでしょうが、公園全体には桜が咲いています。博覧会会場は本館を中心とし、美術館、農林館、水産館、機械館など様々な施設が設けられて、全国から約44万点の品々が出展されました。会場外の寺社なども賑わっており、中には花見を楽しんだり、不忍池の周辺で行われる競馬を見物したり、小舟に乗ったりする人々が描かれています。

本資料に描かれている博物館は、もともと明治14(1881)年の第二回内国勸業博覧会が開催された際に建てられ、

博覧会の翌年から関東大震災により倒壊するまで、帝国博物館(現:東京国立博物館)の本館として使用されていました。『廿三年博覧会実況』という本の中では、博物館が「武器類刀劍陳列又魚鳥の類を生るが如くに調整したるを陳列ある」と紹介されています。また、明治23(1890)年3月に書かれた博覧会の案内本によれば、建物は西洋風の煉瓦造りで、立派な館内が汚れてはいけなるとされ、下足番という所に靴や杖、傘、蓑などを預け上履きで見学していたようです。ちなみに、普段は入館料が必要な博物館でしたが、博覧会期間中は博覧会の入場券を購入していれば、無料で見学することができました。

メディアや交通機関が発達した現代とは違い、当時の人々にとって全国各地から寄せられた工芸品や土産物、最新の機械などを見ることが出来る博覧会は、感興を覚えるものであったでしょう。

学芸調査員 鬼束 芽依



SEINAN GAKUIN
1920

聖書植物園紹介 12

聖書植物園の「ローズマリー／香り草」

聖書植物園 HP <http://www.seinan-gu.ac.jp/shokubutsu/>

【聖句】園に座っているおとめよ／友は皆、あなたの声に耳を傾けている。わたしにも聞かせておくれ。／恋しい人よ／急いでください、かもしかや子鹿のように／香り草の山々へ。(雅歌8:13-14)

この聖句はおとめと若者の愛の歌です。最初の2行は若者の歌、後の2行はおとめの応答となっています。雅歌は「シール・ハ・シリム」(「歌の歌」、「最高の歌」という名を持つ恋愛歌であり、激しい愛の言葉もあります。

ローズマリーは地中海沿岸から中東に自生するシソ科の常緑低木です。学名のrosはラテン語の「滴」、marinusは「海の」を表し、「海の滴」という意味になります。古代から祝いの場や結婚式、または葬儀などに使われてきました。強い抗菌作用と抗菌抗真菌作用を持つので、肉の鮮度を長持ちさせる効果があり、肉料理の香辛料として現在でも使用されています。さらに、ローズマリーの主成分であるロスマリン酸は記憶障害を引き起こす酵素を阻害し、記憶力を向上させる働きもあります。シェイクスピアの四大悲劇『ハムレット』では、「愛しい人よ、これがローズマリー、思い出の花。お願い、いつまでも私を忘れないで。」とあり、狂気に陥り命を絶った美しい女性オフィーリアが言う名場面にも本種は登場します。



ローズマリー

【和名】ローズマリー／香り草
【英語名】rosemary
【学名】*Rosmarinus officinalis* L.
【所在】学術研究所前



ローズマリーの花

学芸調査員 中禮 尚史



博物館通信

2018年9月から11月までに行った博物館活動や出来事の中からいくつかをご紹介します。

西南学院大学博物館では2018年度特別展関連イベントとして、せいなんワークショップ「和綴じでつくる! my ノート」を実施しました。今回は大人を対象として、特別展「キリシタン」のガイドツアー後、和本の説明を行い、実際に和紙を用いて和本の制作をしました。今ワークショップでは近世和本に多い「四つ目綴じ」を採用

しました。じっくりと特別展見学を行い、千枚通しで穴を開け、黙々と刺繍糸で綴じていく作業は大人向けならではの雰囲気がありました。今後とも「地域に開かれた大学博物館」として、子どもや大人を問わず様々な方が楽しんでいただけるようなワークショップを企画していきたいと思ひます。

学芸調査員 中禮 尚史



11月2日(金)～12月13日(木)
2018年度國學院大學博物館×西南学院大学博物館共同特別展
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産世界文化遺産登録記念
「キリシタン—日本とキリスト教の469年—」の展示を開始しました。

11月10日(土)
特別展関連イベント せいなんワークショップ
「和綴じでつくる! my ノート」を実施しました。

企画展紹介

次回開催

2018年度企画展Ⅱ 宗教改革と印刷革命

会期/2019年
1月15日(火)～3月23日(土)

会場/西南学院大学博物館特別展示室、2階講堂

主催/西南学院大学博物館

開催概要

宗教改革は、1517年にマルティン・ルターが著した『九十五カ条の論題』がその発端とされています。この年以降、宗教改革運動の波は、瞬間に西欧中に広まってきました。「聖書を読むこと」を信仰の核に据えた彼らの運動は、俗語聖書の普及というかたちで、聖書の歴史に大きな足跡を刻んでいます。

ルターやカルヴァンといった神学者たちが宗教改革の表の主役であるとするれば、彼らの活動を文化的に支えた裏の主役たちも数多く存在します。そのうちの一人は、15世紀中ごろ活版印刷術の発明によって「印刷革命」を起こし、聖書等の書物の印刷を可能にしたヨハネス・グーテンベルクです。

本展覧会では、宗教改革と印刷革命という二つの革新が「聖書のすがた」をどのように変えたのかを、さまざまな資料と共に紹介します。



ルター訳聖書(1763年版) 1763年/ウォルムス/紙、活版・銅版



2018年度 博物館実習成果展

聖ニコラウス

×

世俗化された サンタクロース



会期/2018年12月1日(土)～
2019年1月11日(金)

会場/西南学院大学博物館1階常設展示室

サンタクロース

—本当の名前は聖ニコラウス?—

西南学院大学博物館では、今年度も実習生による実習成果展が行われます。本展では、聖ニコラウスから現代のサンタクロース像に至るまでの流れを紹介します。

280年に小アジアのリュキア地方、パタラで生まれた聖ニコラウスは、ギリシアやロシアの東方正教会で「奇跡を起こす聖人」として広く崇敬されるようになり、多くのイコン(聖像画)が描かれました。聖ニコラウスのイコンは「老人」「禿頭」「丸い顎鬚」といった特徴があります。

その後、聖ニコラウスは西欧でも守護聖人として民衆の篤い崇敬を集めるようになりました。オランダでは12月6日に行われる「シンタ・クラス祭」が伝統として受け継がれています。ニューアムステルダム建設によってシンタ・クラス祭や贈り物を贈る風習がアメリカにも広がり、商業分野によるこの風習の利用が現在のサンタクロースを誕生させました。

本展では、「聖ニコラウス」のガラスイコンと世俗化されたサンタクロース像も一緒に展示します。ぜひ、サンタクロースの聖と俗の比較を通して、サンタクロースを改めて知ってみてください。

制作者/山中香音・徳永有優南・下白石真希・大坪未歩・佐伯愛心・古賀悠哉・濱田真実・宮川由衣
※このページは、文章・レイアウトを含め実習成果として作成しました。